

2016年(平成28年)4月20日(水曜日)

熊本地震現地支援を

公明党市議団 市長に要望書

公明党市議団は十九日、熊本地震の被災地支援や市の防災体制強化などを求める要望書を、河村たかし市長に提出した。

要望書では、でき得る限りの被災者と被災地支援に全力を尽くすこと▽市の防災減災体制の強化と市民の防災意識の向上▽市立小中学校への防災ヘルメット配備の推進―の三点を求めている。

金庭宜雄団長が「被災地で」必要な物資やインフラ整備など状況

を把握した上で、市とすることができる限りの支援を行っていただきたい。市の体制もすっきり整え、早急な対応を



河村市長に要望書を手渡す公明党市議団の金庭団長(中央) 市役所で

お願いしたい」と要望書を手渡した。河村市長は「十分な対応をするように指示した。いろんな援助についても、『何かできることはにやーか』と言っている」と述べた。

市立小中学校への防災ヘルメット配備について、市議団から「どんな形でもいいので、一日でも早く」と要望されると、河村市長は「何とかしたい。いっぺん考えましようか」と検討する考えを示した。